

**国立市被災建築物応急危険度判定
【震前マニュアル】**

令和 7年 2月

平成28年 9月 制定
令和 4年 2月 改訂
令和 7年 2月 改訂

用語

本マニュアルの用語については以下のとおり省略し表記する。

	略 称	解 説
1	市	国立市
2	建物判定	被災建築物応急危険度判定
3	建物判定士	被災建築物応急危険度判定士
4	地元判定員	市内在住・在勤者で都作成の建物判定士名簿に記載・登録された建物判定士【東京都防災ボランティア】
5	地元判定士	市内在住・在勤者で市作成の建物判定士名簿に記載・登録された建物判定士【国立市ボランティア判定員】
6	応援判定士	市外から派遣される判定士
7	都支援本部	東京都が立ち上げる支援本部
8	災害対策本部	国立市災害対策本部
9	実施本部	国立市被災建築物応急危険度判定実施本部
10	総合防災計画	国立市総合防災計画（最新版）
11	避難所	国立市総合防災計画に明記する指定避難所
12	職員	国立市職員
13	判定コーディネーター	判定士の指導支援を行うもの

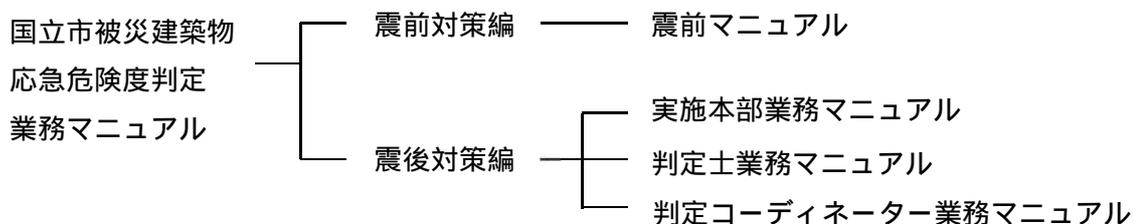
目次 ~震前マニュアル~

1 . 目的	・・・ 3
2 . 実施体制の確立	・・・ 3
3 . 判定棟数、判定実施区域、優先順位の想定	・・・ 4
4 . 判定実施計画の策定	・・・ 5
5 . 応援判定士受入体制の確立	・・・ 7
6 . 判定士等への情報連絡体制	・・・ 8
7 . 判定技術の向上	・・・ 9
8 . 判定資機材等の備蓄状況の確認及び更新	・・・ 10
9 . 情報伝達の準備	・・・ 10
10 . 判定制度の広報活動	・・・ 10
11 . その他	・・・ 10
別紙 1 国立市 被災建築物応急危険度判定 実施本部体制表	
別紙 2 実施本部（北庁舎 1階 第7会議室）レイアウト図	
様式 1 応急危険度判定支援 要請・回答書	
様式 2 被災建築物応急危険度判定実施計画書	

1 目的

このマニュアルは、地震発生後において、建物判定を円滑に実施するため、判定に関する計画の作成及び判定資機材の備蓄等、震前に準備すべき基本事項について定めるものである。

[国立市被災建築物応急危険度判定業務マニュアルの構成]



2 実施体制の確立

(1) 実施本部設置の想定震度

- ア 実施本部設置のための想定震度を震度 5 強に設定する。
- イ 震度 6 弱以上の地震が発生した場合、直ちに実施本部を設置し、建物判定の実施を原則とする。ただし、被災状況に応じて災害対策本部長の判断に基づき、判定を実施しないこともできる。
- ウ 震度 5 強以下の場合、被災状況に応じて災害対策本部長の判断に基づき、判定実施の要否を判断する。

(2) 実施本部体制

- ア 災害対策本部長は、建築営繕課長を実施本部長に任命し、実施本部の設置を命ずる。建築営繕課長が職務に就けない場合は課内次点職位の職員とする。
- イ 実施本部は建築営繕課職員で構成することを原則とし、組織構成及び業務内容を次のとおりとする。ただし、必要人数を確保できない場合は、防災安全課及び受援班（職員課、文書法制課）に動員要請を行う。
- ウ 建築営繕課長は、あらかじめ実施本部体制名簿を作成する。実施本部員に異動があった場合は直ちに体制表（別紙 1）を更新する。

実施本部	
実施本部長：建築営繕課長	
業務内容	判定業務の統括、災害対策本部との調整、マスコミ対応

業務内容	後方支援班	判定計画班	判定実施班
	班員 2~4 人程度	班員 2~4 人程度	班員 3~6 人程度
	<ul style="list-style-type: none"> ・北庁舎の建物判定 ・実施本部の設営 ・判定街区マップの準備 ・判定資機材の準備、補充、回収 ・判定士の食事、宿泊所の確保(職員課共) ・民間判定士の災害補償手続き ・広報活動(HP、防災無線、避難所への掲示連絡等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市域の災害情報収集(建物、交通規制) ・災害対策本部との連絡調整 ・東京都支援本部との連絡調整 ・判定区域、実施期間、被災建築棟数及び必要判定士の把握 ・判定実施計画の作成、見直し ・東京都支援本部への支援要請(判定士、資機材等) ・判定に関する問合せ窓口の開設 ・判定実施結果の総集計、資料整理 ・東京都支援本部への判定実施結果報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎の建物判定 ・避難所、福祉避難所の建物判定 ・地元判定士への参集要請 ・判定士の受入、名簿作成及び管理 ・判定士の受入準備 ・判定区域の地域割り ・判定コーディネーターの補助(各判定士の班編成等) ・判定コーディネーターとの連絡調整 ・判定実施日の集計

業務内容	判定コーディネーター
	班員 2~3 人程度
<ul style="list-style-type: none"> ・判定実施班及びチームの編成、班長及び副班長の任命 ・班名簿の作成及び管理 ・判定資機材等の配布 ・判定士に対する判定作業の説明(資料配布共) ・判定業務の実施 ・判定士の健康状態の把握 ・判定結果集計及び報告 ・要再調査建物の検討 	

(3) 実施本部の設置

ア 実施本部は、北庁舎第7会議室に実施本部に設置する。北庁舎第7会議室を
実施本部とした場合のレイアウトは(別紙2)とする。なお、当該施設が
被災して使用できない場合は、次の順位で実施本部を設置する。

	くにたち市民総合体育館
	くにたち市民芸術小ホール
	市役所駐車場

イ 実施本部長は、実施本部設置の決定、判定実施の要否及び被災状況等を都支援本部に報告する。(様式1)

(4) オペレーションタイプ

オペレーションタイプはタイプAとタイプBがあり、タイプAの選択を原則する。

タイプA：判定実施区域として定めた区域内の対象の建築物について、「外観」調査
を中心として判定を実施

タイプB：所有者等の「要請」に応じた対象について、「立入り」調査を含む判定の
実施

3 判定棟数、判定実施区域、優先順位の想定

(1) 地震による一般住宅の被害建築物の棟数予測

東京都公表の「首都直下地震等による東京の被害想定(令和4年5月)」をもとに、国立市の一

般住宅の構造別棟数を表 1 - 1 に示す。また、国立市において最大の被害が想定される立川断層帯地震の被災建築物の棟数を表 1 - 2 に示す。なお、全壊、半壊・一部破損数は、建物の木造・非木造比率に応じて配分したものである。

表 1 - 1 市内の一般住宅の構造別棟数

	木造	非木造	合計
棟数(棟)	11,830	4,390	16,220
比率(%)	73.0	27.0	100.0

出典：首都直下地震による東京の被害想定報告書（令和 4 年 5 月）

表 1 - 2 立川断層帯地震における想定被災建築物棟数

	全壊	半壊・一部破損	合計
木造(棟)	347	776	1,123
非木造(棟)	129	287	416
合計(棟)	476	1,063	1,539

出典：首都直下地震による東京の被害想定報告書（令和 4 年 5 月）

(2) 判定実施区域の想定

東京都公表の「地震に関する地域危険度測定調査（令和 4 年 9 月）」における建築倒壊危険度ランク 2 の区域に、総合危険度ランク 2 を加えた区域を判定実施区域と想定する。

(3) 優先順位

建築倒壊危険度ランク 2 の区域から優先して判定することを基本とする。ただし、実際の被災状況（建物、交通）や判定士の参集状況等に応じて総合的に判断する。

なお、土砂災害警戒区域地等については、被災状況に応じて判定士の安全に十分に配慮するものとし、被災情報等から判定活動が困難である場合は判定対象外とする。

危険度		建物倒壊危険度(ランク数が高いほど危険性が高い)	
		ランク2	ランク1
総合危険度	ランク2	北 2 丁目、西 1・3 丁目、 中 1 丁目、東 3 丁目	西 2 丁目、東 1・2・4 丁目、 青柳
	ランク1	上記以外の地域	

(4) 判定棟数の想定

建物倒壊危険度ランク 2 かつ総合危険度ランク 2 に含まれる区域である 3,752 棟を判定棟数として想定する。

4 判定実施計画の策定

震後 3 日以内に判定実施計画書を作成する。(様式 2)

(1) 対象となる建築物の用途規模

対象建物は、階数が地上 10 階未満の民間住宅（戸建て住宅、共同住宅、店舗併用住宅）

とする。なお、10階以上の高層建築物若しくは大スパン構造、立体トラス構造、吊り構造のような特殊な建築物等は、専門性の高い建築士による調査が必要となるため判定対象から除く。

(2) 判定実施期間

判定実施期間は判定準備期間を含め10日以内とする。

(3) 必要判定士数及び必要判定コーディネーター数

ア 必要判定士数 74人/日(延べ人数518人、実人数173人)

算定条件	判定対象棟数	5,170棟
	判定実施期間	7日間
	1日当たりの判定棟数	20棟/(1チーム)
	チーム人数	2人
	判定士1人の稼働日数	3日間
必要判定士数	$\begin{aligned} & \text{【必要対象棟数} \div \text{判定実施期間} \div \text{1日当たりの判定棟数} \times \text{チーム人数} \text{】} \\ & = 5,170(\text{棟}) \div 7(\text{日}) \div 20(\text{棟}) \times 2(\text{人}) \\ & = 73.86 \quad 74(\text{人/日}) \\ & \text{【1日当たり必要判定士数} \times \text{判定実施期間} \div \text{判定士1人の稼働日数} \text{】} \\ & = 74(\text{人/日}) \times 7(\text{日}) \div 3(\text{日間}) \\ & = 172.67 \quad 173(\text{人}) \end{aligned}$	

イ 必要判定コーディネーター数 2人/日(延べ人数14人、実人数4人)

必要判定コーディネーター数は、判定士40人に対して1人以上配置するよう算定する。判定コーディネーターは建築営繕課職員を原則とする。

1日当たり必要人数	$74(\text{人/日}) \div 40(\text{人}) = 1.85 \quad 2(\text{人/日})$
延べ人数	$2(\text{人/日}) \times 7(\text{日間}) = 14(\text{人})$

(4) 地元判定員数及び地元コーディネーター数

東京都より毎年送付される地元判定員及び地元コーディネーターの名簿を維持更新し、常に最新の状態で保管する。

ア 地元判定員数 80人(うち市職員15人)(令和6年1月現在)

	国立市職員	民間	計
市在住のみ	0	43	43
市在勤のみ	11	7	18
市在住かつ在勤	4	15	19
計	15	65	80

判定員が不足する場合、必要判定員数から参集可能な地元判定士を差し引いた人数（必要に応じて判定資機材）を都支援本部に要請する。なお、市在住の民間判定員には国立市職員以外の行政職員が含まれており、震災時は他の公務に従事するため、実働人数に含めることができない。

イ 地元コーディネーター数 24人（うち市職員 17人）（令和6年1月現在）

	国立市職員	民間	計
市在住のみ	0	7	7
市在勤のみ	13	0	13
市在住かつ在勤	4	0	4
計	17	7	24

（5）地元判定士数

国立市に登録されている名簿を維持更新し、常に最新の状態で保管する。

ア 地元判定士数 5人（令和6年1月現在）

（6）判定資機材等

ア 必要判定員数分の判定資機材を準備し、備蓄状況を管理する。

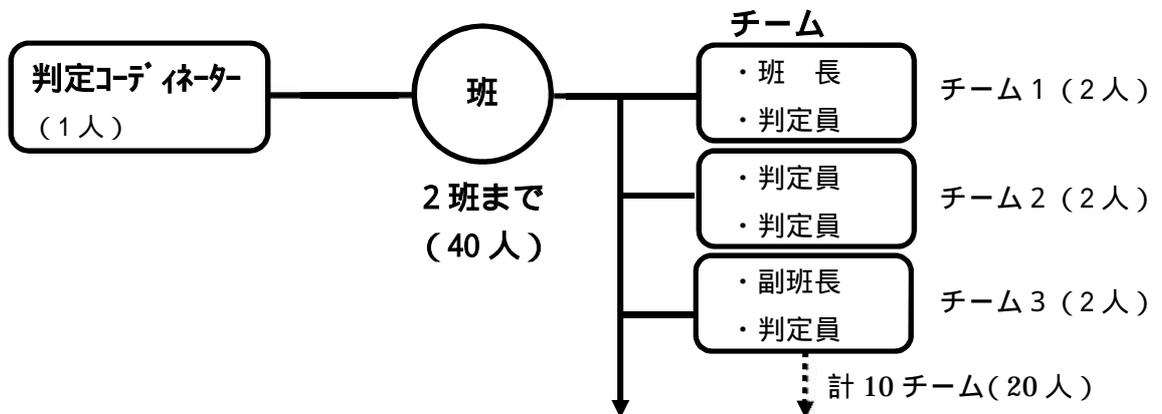
イ 判定街区マップは、事前に1チームが1日に判定できる棟数を基準とし作成する。判定資機材と共に保管されている。

ウ 都支援本部から判定資機材の提供を受ける場合は、応援判定員が持参する判定資機材と数量リストを照合する。

（7）判定コーディネーターの配置

ア 判定コーディネーターは建築営繕課職員を原則とする。

イ 判定コーディネーター1名に対して判定員最大40名が付く。



5 応援判定士受入体制の確立

都支援本部からの応援判定員及び応援判定コーディネーター（以下「応援判定員等」と

する)の受け入れを想定して、以下の体制整備を行う。

(1) 1次参集場所までの移動手段等

1次参集場所は実施本部を原則とするが、被災状況によって別に定めることができる。判定計画班は、応援判定員等の1次参集場所までの移動手段等について、利用できる道路網・交通機関等の情報を災害対策本部に確認し、応援判定員等の要請に伴い都支援本部に情報提供できるようにする。

(2) 実施本部から判定実施区域までの移動手段

実施本部から判定実施区域までの移動は、徒歩を基本とする。

(3) 宿泊施設及び食事の確保

ア 後方支援班は職員課と共に判定士の宿泊施設及び食事の確保を行う。

イ 応援判定士の宿泊施設の確保については、災害対策本部と協議し、市内公共施設等のうち、一時収容可能な学校の普通教室等の活用を検討する。確保が困難な場合は都支援本部に要請する。(様式1)

想定宿泊施設	学校
想定宿泊場所	普通教室(約60㎡)
最大応援判定員数	74人
必要教室数 [5(㎡/人)想定]	7教室
	60(㎡)÷5=12(人/教室) 74(人)÷12(人/教室)=6.17 7(教室)
必要日数	10日間 判定実施期間+残務作業日数(集計等)

宿泊場所は女性判定員が別室で宿泊できるよう対応する。

ウ 応援判定員等の食事の手配が可能か災害対策本部に確認し、東京都に連絡する。(様式1)

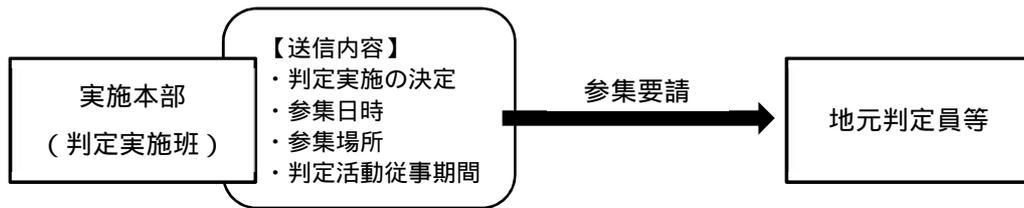
6 判定員等への情報連絡体制

実施本部による判定実施の決定後、判定活動を早急に開始できる体制づくりが求められるため、東京都から提供される地元判定員名簿を活用し、以下の方法により地元判定員へ速やかに参集要請を行う。判定員数に不足があれば、都支援本部に応援判定員を要請する。

(1) 地元判定員等への連絡方法

連絡方法は一斉メール送信を原則とし、下記のメールアドレスを使用する。人数が不足する場合、電話にて個別要請を行う。通信機器に問題がある場合は、市内在住判定員等向けに防災無線にて呼びかけを行う。

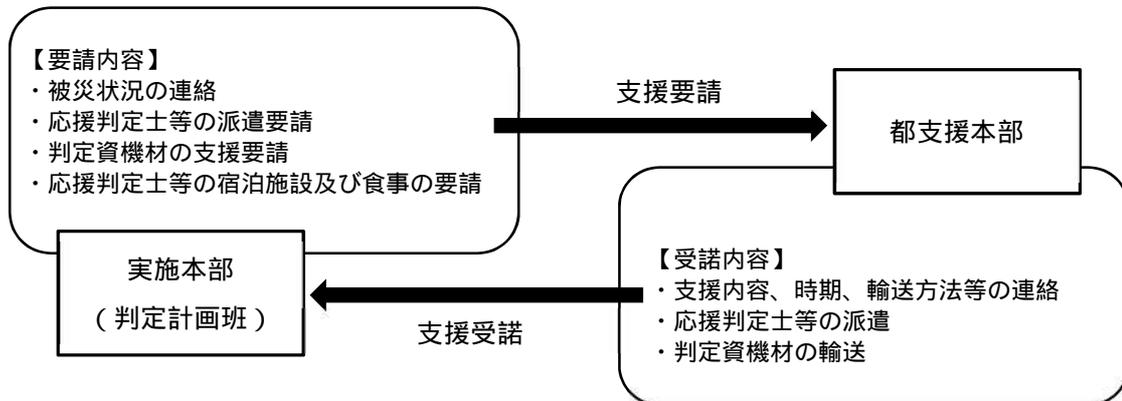
(メールアドレス: sec_keneizen@city.kunitachi.lg.jp)



震災発生に備えて参集要請の模擬訓練を定期的に行うよう準備する

(2) 都支援本部への連絡方法

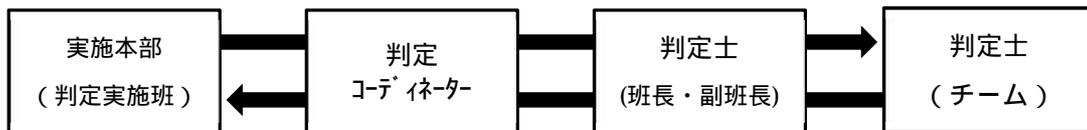
連絡方法は原則、メール送信又はDIS(災害情報システム)とする。判定計画班は、必要に応じて都支援本部に応援判定員、判定資機材等の支援要請を行う。併せて、被災状況等の連絡調整を行う。(様式1:要請・回答書)



震災発生に備えて支援要請の模擬訓練を定期的に行うよう準備する

(3) 判定実施時における実施本部から判定コーディネーター等への連絡方法

連絡方法は電話を原則とし、連絡体制は下記のとおりとする。なお、班長・副班長については、応急危険度判定の実績経験や建築関連団体・協会の所属状況等を考慮し、事前に地元判定士から選出し就任依頼しておく。



7 判定技術の向上

判定技術の維持、向上を図るため、定期的に判定技術に関する講習、訓練等を行う。

- (1) 東京都が主催する連絡訓練に参加し、都支援本部と実施本部との連絡訓練を定期的実施する。
- (2) 素早く実施本部を設営し、円滑に判定活動が開始できるように、建築営繕課でシミュレーションを行い、定期的に初動訓練を実施する。
- (3) 地元判定士を対象とした「参集訓練」や「模擬訓練」等を定期的実施すると共に、連絡会を催し最新情報の提供に努める。

- (4) 東京都が主催する判定士・判定コーディネーターの講習会を市内在住・在勤の建築士等に周知し、登録を促すことで判定士等の増員を図る。

8 判定資機材等の備蓄状況の確認及び更新

(1) 判定資機材

判定資機材の備蓄状況を毎年(9月頃)確認し、耐久年数や劣化状況から更新が必要なものは、次年度に予算計上し補充する。

(2) 判定街区マップ

住宅地図の情報を5年毎に更新し、最新の情報として保管する。(後方支援班)

9 情報伝達の準備

- (1) 地元判定員等への参集依頼、都支援本部への支援要請及び報告等について、伝達者によって情報内容が異ならないよう、必要に応じて事前に様式を作成しておく。

- (2) 各事項に関する入力方法等は日頃から確認し、震災時、円滑に使用できるよう準備する。

10 判定制度の広報活動

より多くの判定士の確保、並びに震災時の円滑な判定活動の実施に向け、東京都と協力し、判定制度の普及啓発を行い、市内在住・在勤の建築士をはじめ一般市民の理解を得られるよう努める。

(1) 建築士向け

防災ボランティア登録制度や判定制度の講習会の案内等を市のHPやSNSで発信し、判定活動に協力してもらえるよう判定士登録を促す。

(2) 市民向け

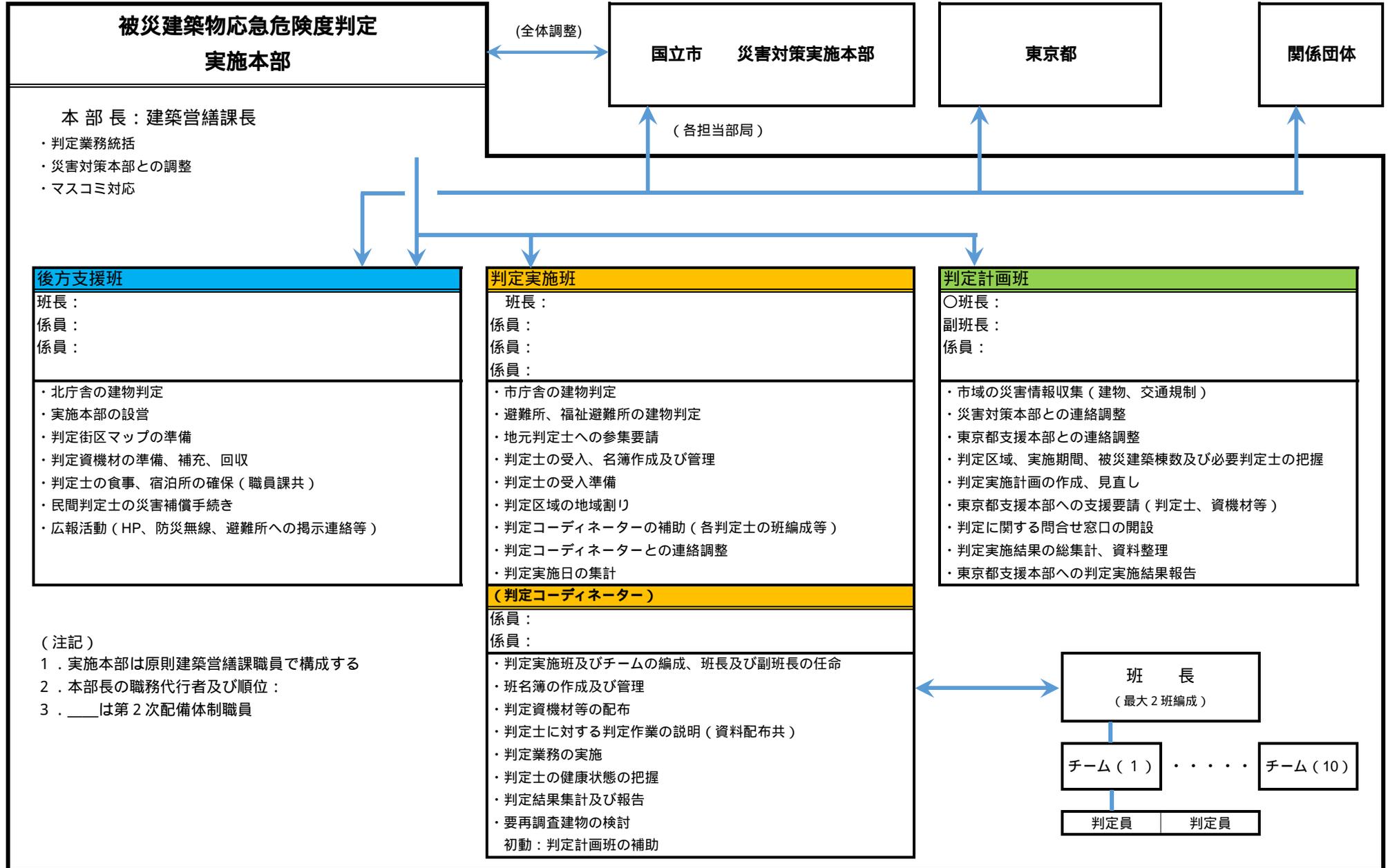
市報やHP等を用い、判定制度の概要や震災時の対応を周知する。

11 その他

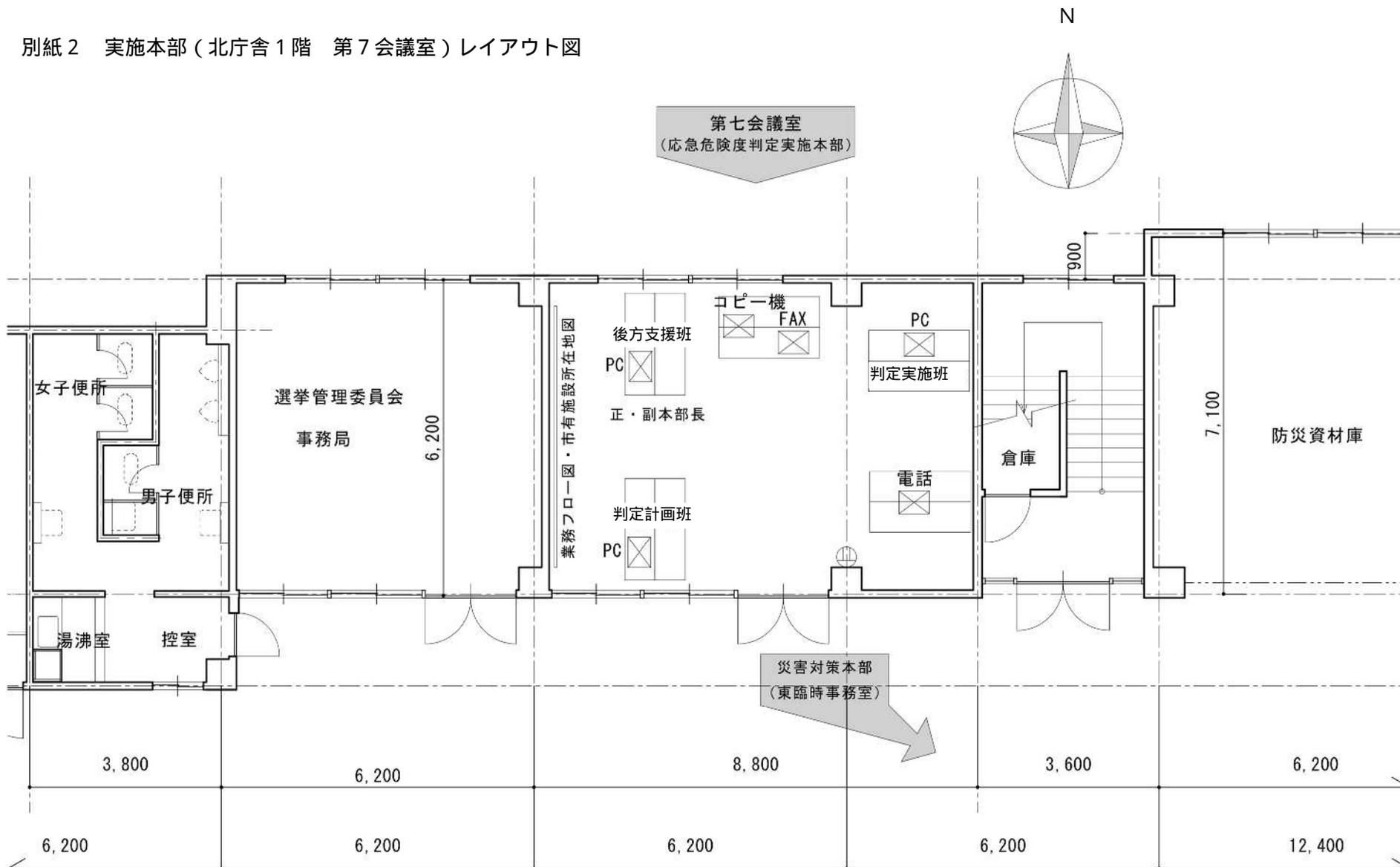
(1) 地元判定士の災害補償

地元判定士の判定活動に伴う傷害事故については、「市民総合賠償保障保険」に基づく手続きを行う。

国立市 被災建築物応急危険度判定 実施本部体制表



別紙2 実施本部（北庁舎1階 第7会議室）レイアウト図



応急危険度判定支援 要請・回答書

様式 1

(要 請 書)

(回 答 書)

発信日時: <input type="text"/> 記入者: <input type="text"/> (会員名・氏名)	発信日時: <input type="text"/> 記入者: <input type="text"/> (会員名・氏名)																																																								
要請先: <input type="text"/>	回答先: <input type="text"/>																																																								
応急危険度判定支援要請の連絡です。 <input type="text"/> では <input type="text"/> に 発生した地震により、 <input type="text"/> の建物に被害が出ている 模様です。 そのため、災害対策本部に判定実施本部(支援本部)を設け、応急危険度 判定を <input type="text"/> から <input type="text"/> まで実施する予定 です。つきましては、以下の支援をお願いします。	応急危険度判定支援回答の連絡です。 <input type="text"/> から <input type="text"/> に以下の支援が可能です。																																																								
(日付) 第1次 (○月○日～○月○日)	(日付) 第 次 (月 日～ 月 日)																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">要請判定士</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">人 (延べ</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宿 泊 手 配</td> <td>派遣側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td>依頼側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">昼 食 準 備</td> <td>派遣側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td>依頼側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> </table>	要請判定士		人 (延べ		人)	宿 泊 手 配	派遣側		人 (延べ	人)	依頼側		人 (延べ	人)	昼 食 準 備	派遣側		人 (延べ	人)	依頼側		人 (延べ	人)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">派遣判定士</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">人 (延べ</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宿 泊 手 配</td> <td>派遣側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td>依頼側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">昼 食 準 備</td> <td>派遣側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td>依頼側</td> <td></td> <td>人 (延べ</td> <td>人)</td> </tr> </table>	派遣判定士		人 (延べ		人)	宿 泊 手 配	派遣側		人 (延べ	人)	依頼側		人 (延べ	人)	昼 食 準 備	派遣側		人 (延べ	人)	依頼側		人 (延べ	人)										
要請判定士		人 (延べ		人)																																																					
宿 泊 手 配	派遣側		人 (延べ	人)																																																					
	依頼側		人 (延べ	人)																																																					
昼 食 準 備	派遣側		人 (延べ	人)																																																					
	依頼側		人 (延べ	人)																																																					
派遣判定士		人 (延べ		人)																																																					
宿 泊 手 配	派遣側		人 (延べ	人)																																																					
	依頼側		人 (延べ	人)																																																					
昼 食 準 備	派遣側		人 (延べ	人)																																																					
	依頼側		人 (延べ	人)																																																					
判定調査表 木造 <input type="text"/> 百枚 RC <input type="text"/> 百枚 S造 <input type="text"/> 百枚	判定調査表 木造 <input type="text"/> 百枚 RC <input type="text"/> 百枚 S造 <input type="text"/> 百枚																																																								
ステッカー 危険 <input type="text"/> 百枚 要注意 <input type="text"/> 百枚 調査済 <input type="text"/> 百枚	ステッカー 危険 <input type="text"/> 百枚 要注意 <input type="text"/> 百枚 調査済 <input type="text"/> 百枚																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">参 集</td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">場 所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>時 間</td> <td></td> <td>TEL 042-576-2111</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>時 間</td> <td></td> <td>TEL</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>時 間</td> <td></td> <td>TEL</td> </tr> </table>	参 集	場 所				時 間		TEL 042-576-2111	場 所				時 間		TEL	場 所				時 間		TEL	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">参 集</td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">派遣人数</td> <td colspan="3">この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。</td> </tr> <tr> <td>(延べ</td> <td><input type="text"/></td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">備考:</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">派遣人数</td> <td colspan="3">この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。</td> </tr> <tr> <td>(延べ</td> <td><input type="text"/></td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">備考:</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">派遣人数</td> <td colspan="3">この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。</td> </tr> <tr> <td>(延べ</td> <td><input type="text"/></td> <td>人)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">備考:</td> </tr> </table>	参 集	派遣人数	この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。			(延べ	<input type="text"/>	人)	備考:				派遣人数	この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。			(延べ	<input type="text"/>	人)	備考:				派遣人数	この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。			(延べ	<input type="text"/>	人)	備考:			
参 集			場 所																																																						
		時 間			TEL 042-576-2111																																																				
		場 所																																																							
			時 間		TEL																																																				
		場 所																																																							
	時 間			TEL																																																					
参 集	派遣人数	この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。																																																							
		(延べ	<input type="text"/>	人)																																																					
	備考:																																																								
	派遣人数	この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。																																																							
		(延べ	<input type="text"/>	人)																																																					
	備考:																																																								
派遣人数	この参集場所に <input type="text"/> 人派遣可能です。																																																								
	(延べ	<input type="text"/>	人)																																																						
備考:																																																									
移動手段																																																									
移動ルート																																																									
備 考:																																																									

全国被災建築物応急危険度判定協議会

メールの場合は署名を、FAXの場合は送付用紙を必ずつけてください。

区市町村() 地区)被災建築物応急危険度判定実施計画書

実施内容									
実施本部の設置場所									
判定実施期間		令和 ○年 ○月 ○日 ~ 令和 ○年 ○月 ○日(10日間)							
調査方法		外観調査 立入調査 その他()							
判定日		1日目(/)	2日目(/)	3日目(/)	4日目(/)	5日目(/)	6日目(/)	7日目(/)	合計
判定拠点の設置場所									
判定実施区域									
判定員の集合場所									
判定対象建築物	対象建築物								
	概数								
	(墨計)								
判定員数	必要判定員数								
	地元判定員数								
	要請判定員数								
コーディネーター数	必要コーディネーター数								
	地元コーディネーター数								
	要請コーディネーター数								
必要な判定資機材数量									
判定調査表	木造								
	RC造								
	鉄骨造								
ステッカー	危険								
	要注意								
	調査済								
下げ振り									
ハンマー									
バインダー									
腕章									
ガムテープ									
ヘルメットシール									
その他									
要判定地への移動手段									
要判定地への移動ルート									
宿泊場所									
特記事項									